



贈り物



10月7日に浜松市立庄内中学校の生徒さんより、校内で大事に育てたポットマムをいただきました。

生徒さんからのメッセージ付きで院内薬局前の待合スペースに飾っています。

【理 念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

医療保護施設

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL

〒433-8558 浜松市北区三方原町3453

TEL 053-436-1251(代) FAX 053-438-2971

おしらせ



竣工式

～地域障がい者総合リハビリテーションセンター～

2018年12月より着工した地域障がい者総合リハビリテーションセンターは今年の9月下旬に無事完成を迎えました。

11月5日の開設を前に10月23日(水)に竣工式、26日(土)に地域住民向けの内覧会を行いました。竣工式では多くの来賓の方々へ出席いただき、この施設にかかる大きな期待を感じることができました。式典では列席者を前に社会福祉法人聖隷福祉事業団の山本敏博理事長が「障がい者支援の役割として診療の充実と障がい者スポーツの提供があり、地震などの災害時には障がい者のための避難所として受け入れる準備があります。地域共生社会の実現に貢献できるように努力していきます。」と挨拶しました。

地域障がい者総合リハビリテーションセンターについては、本誌P7～P8に特集しています。



山本理事長の挨拶



式典後の内覧会の様子

オレンジ体操DVD制作中

健康寿命を保つためには普段から適度な運動をして骨と筋肉の衰えを予防することがとても大切です。

そこで、当院の認知症・せん妄ケアサポートチームがリハビリテーション部と協力して作成したのが「オレンジ体操」です。体操の内容は、「基礎体操」、「リズム体操」、「クールダウン」と3つの要素で構成されています。車椅子や椅子に座ったままできるものと、立つて行うものとの2種類が収録されています。

DVDには出世大名康くんと出世法師直虎ちゃんの2人も出演しています。今後、浜松市内の高齢者施設や地域サロンへもDVDを配布して広めていく予定です。

なお、このDVD作成は静岡県認知症の人をみんなで支える地域づくり推進事業の一環です。



病院学会で知る『BLS』とは

当院では心肺蘇生法やAEDを広く知っていただくために、毎年病院学会の開催される日に紹介コーナーを設け啓蒙活動を行っています。今年11月10日(日)9時~15時に開催いたします。



突然の心肺停止は年間10万人。近くに人がいて心肺蘇生法を実施されたのは56.6%、AEDを使用されたのは4.9%のみでした。日本で非医療従事者がAEDを使用できるようになってから15年。まだまだ市民への周知が足りないのが現状です。

そこで病院学会当日の玄関ホール自動販売機横にて、心肺蘇生法・AEDコーナーを設置いたします。小学生の死をきっかけに始まった市民を対象とした蘇生教育を、動画や資料でわかりやすく紹介します。

是非お立ち寄りください。



がん相談支援センターからのお知らせ

おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

参加費無料 申し込み不要

日時：11月28日(木)13:30~15:00

場所：聖隷三方原病院 第6会議室

対象：がん患者さんとご家族



第4回 就労に関する相談会

静岡産業保健総合支援センターから派遣された両立支援促進員と当院の相談員がご相談をお受けいたします。

予約制

日時：2020年1月9日(木)13:00~16:00

場所：よろず相談地域支援室

対象：がん患者さんとご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室内 がん相談支援センター
電話：053-439-9047

人間ドックのご案内

聖隷予防検診センター

お申し込み：

【予約受付時間】

0120-938-375

◆月~金曜日 9:00~16:30

◆土曜日 9:00~12:00

がん、肝炎、糖尿病等の疾病により
長期にわたる治療が必要な求職者の皆様へ
～ハローワーク浜松による就職支援のご案内～

患者さんの悩み・不安にハローワーク浜松の就職支援ナビゲーターがアドバイスします！

日時：11月25日(月) 10:00～12:00

場所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

お問い合わせ：医療相談室

電話：053-439-9046

※事前予約可能です。医療相談室にて予約ください。

あれ!? これって...
認知症?

認知症の人には
どう接したらいいの?

認知症相談会

認知症に関する相談を、認知症看護認定看護師、医療ソーシャルワーカーがお受けします。ひとりで悩まず、ご相談ください。

日時：11月28日(木) 14:00～17:00

※事前予約制、30分程度 / 1件

場所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

申し込み：聖隷三方原病院 医療相談室(よろず相談地域支援室内)

電話：053-439-0006

受付時間：月～金 8:30～17:00

主催：聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター

～家庭での備蓄食品 ローリングストック～

今年是国内でも地震や台風の災害が起きています。いつどこで起きるかわからない災害に対して日頃から備蓄食品を用意しておく必要があります。備蓄食品には大きく分けて「非常食」と「日常食品」の二種類があります。今までの非常食は乾パンやレトルト食品など主に災害時のみ使用していましたが、これからは日常から使用している食品を災害時にも使用するローリングストックとしてバランスよく備えることが大切になっていきます。

ローリングストックとは普段の食品を少し多めに買い置きしておき賞味期限を考えて古いものから食べていき消費した分を買い足すことで常に一定量の食品が備蓄をされている状態を保つ方法です。また、外出中に災害が発生することを考慮して普段から持ち歩く飲料水やチョコレートなどの「持ち歩き用品」も備えておけば万全です。

☆ローリングストックの流れ

- ① 家庭にある食品をチェックする※備蓄の目安は家族の人数×最低3日分(できれば1週間分)
- ② 栄養バランスを考えて家族の人数や好みに応じた備蓄内容・量を決定
- ③ 足りないものを買い足す
- ④ 期限が切れる前に消費して消費した分を買い足す

☆備蓄食品の種類

<主食> パックご飯や粥・餅・カップ麺などの即席麺・缶詰パンや缶パン
<主菜> 肉、魚、豆の缶詰やパック・丼やカレーのレトルト食品・フリーズドライのおかず

<副菜> 日持ちする野菜・梅干し・野菜の缶詰(ホールやジュース)・インスタントの汁物・乾物(のり・ひじき・わかめ・切干し大根など)

<果物> 日持ちする果物・果物の缶詰・ドライフルーツ・果物ジュース

<調味料その他> 塩・味噌・醤油・砂糖・ふりかけ・はちみつ・飲料水など各家庭に合うもの

<菓子・嗜好品> 飴・ようかん・チョコレート・ビスケット・せんべいなど

また電気やガスが復旧していない場合、カセットコンロが便利です。他にもラップやオイル使い捨ての皿や箸、除菌ペーパーなど日頃から用意しておくとうれいでしょう。

☆備蓄食品の収納

1か所に入らないときは分散して収納することがおすすめです。例えば大人の1週間分の飲料水は2リットル×12本と量が多いため、備蓄食品はキッチンだけでなく押し入れやリビング、寝室のクローゼットなど家の中にあるいろいろな隙間スペースを見つけて分散収納しましょう。

栄養課 栄養士 市川尚巳

参考資料：農林水産省「災害時に備えた食品ストックガイド」

地域障がい者総合 リハビリテーションセンターについて

リハビリテーション科
部長 片桐伯真

高度先進医療を行う総合病院の中になぜ、いま、このような施設が作られるのか？という疑問を持たれる方も多いと思います。そこで今回は開設にあたりこの施設の役割をご紹介します。



この施設のコンセプトは「たとえ障がいがあっても、住み慣れた地域で、(再び)いきいきとした生活をおくることができるような機会を作る場となること」です。疾病や障がいが複雑になる昨今、従来の医療や既存の支援だけでは十分な対応ができないことがあります。そのような障がいを持った方には生活する環境で活用できる既存の制度のみでは満足得られないこともあり、今後新たに支援につながる場や人材育成、システム作りが求められます。

この施設は外来対応に限定されますが、医療の提供はもちろん、教育・啓発などの支援普及などを様々な観点から貢献できるような活動を担っていく予定です。



そのための施設として支援センター機能を備えた外来のみならず、障がい者スポーツや災害時支援を念頭に入れたアリーナなどを備えています。この中で障がい者の就学・就労・余暇(スポーツ)・災害時対応はもとより、障がい者を支える家族を含めた支援者へのサポートの充実も図っていきたくて考えております。

まだまだ誕生したばかりですが、今後地域に役立つ施設として成長していくためにも、是非とも皆様のご理解・ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

